

#### 4常任委員会連合審査会

平成30年3月14日（月）

午前11時43分～午後0時32分

議会大会議室

【出席委員】（総務委員会）山下伸二委員長、宮崎 健副委員長、富永明美委員、川原田裕明委員、重松 徹委員、野中宣明委員、江頭弘美委員、松尾和男委員、千綿正明委員  
（文教福祉委員会）松永憲明委員長、堤 正之副委員長、御厨洋行委員、松永幹哉委員、重田音彦委員、池田正弘委員、白倉和子委員、山下明子委員  
（経済産業委員会）川副龍之介委員長、永渕史孝副委員長、久米勝也委員、中村宏志委員、中野茂康委員、武藤恭博委員、中山重俊委員、嘉村弘和委員、西岡義広委員  
（建設環境委員会）久米勝博委員長、村岡 卓副委員長、野中康弘委員、山口弘展委員、平原嘉徳委員、川崎直幸委員、福井章司委員、黒田利人委員

【欠席委員】西岡真一委員、山田誠一郎委員

【委員外議員】なし

【執行部出席者】関係職員

【案 件】

・付託議案について

○山下伸二総務委員長

ただいまから第1号議案 平成30年度佐賀市一般会計予算のうち第1条（第1表）歳入全  
款及び第3条（第3表）地方債について、4常任委員会による連合審査会を開会いたします。

なお、文教福祉委員会の西岡真一委員と建設環境委員会の山田誠一郎委員が午前中欠席、  
文教福祉委員会の白倉議員が遅参をされるということでございますので、お知らせを  
おきます。

まず、本日の審査日程について、お手元に配付しています審査日程案のとおり進めたい  
と思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議ないようですので、この審査日程案どおり審査いたします。

それでは、審査に入る前に注意していただきたい点を申し上げます。

まず、発言される際は、挙手の上、必ず指名されてからマイクを使用の上、発言をして  
ください。

執行部におかれましては、簡潔な説明に心がけていただきたいと思います。また、答弁につきましては、役職に関係なく、質問に対して回答できる方がされるようお願いいたします。

あと、委員の皆さんにですけれども、予算の歳入の審査ですので、その範囲内での審査をお願いします。市政一般に対する質問等にならないようお願いしたいと思います。

それから、多岐にわたる質問をお持ちだと思いますが、一度にたくさんの質疑をされますと、答弁がわかりにくくなりますので、質疑の該当資料のページ等を示した上で、1回につき1項目に絞って質疑をしていただきたいと思います。

それでは、審査に入ります。区切って行います。歳入第1款から第11款までについて執行部に説明を求めます。

◎第1号議案 平成30年度佐賀市一般会計予算中、歳入第1款～第11款 説明

○山下伸二総務委員長

それでは、ただいまの説明につきまして委員の皆さんの御質疑をお受けいたします。御質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、ないようですので、次に、歳入第12款から第15款までについて執行部に説明を求めます。

◎第1号議案 平成30年度佐賀市一般会計予算中、歳入第12款～第15款 説明

○山下伸二総務委員長

それでは、ただいまの説明につきまして委員の皆さんから御質疑をお受けいたします。

○山下明子委員

国庫負担金のところで、ちょっとページが……

○山下伸二総務委員長

ページ数はわかりますか。

○山下明子委員

国庫負担金、就学援助にかかわる国庫負担金ですね、小・中学校の就学援助に係る国庫負担金、ちょっとページが見つからない。そっちわかりますか。額が少ない。

○山下伸二総務委員長

じゃ、ちょっと探しておいてください。

ほかに御質疑がある方はいらっしゃいませんか。

○白倉委員

単純な質問です。歳出でもちょっと見受けられるんですが、73ページなんですけれども、県知事選挙と県議会選挙が来年続いてございますね。県知事選挙と県議会選挙で佐賀市に入ってくる委託金の桁がちょっと違うんですが、これは何か計算根拠自体が違うんですか。

○大久保財政課長

県知事選挙につきましては、平成30年度中の実施となりますので、総額が入っております。県議会議員選挙につきましては、平成31年度にありますので、平成30年度分のみを計上しております。

○江頭委員

59ページの認定こども園施設整備事業費補助金、幼稚園型認定こども園の645万9,000円の県の補助金なんですけど、これはもう国が内示というか、国の内示がきちっとあったということで理解していいんですか。それとも県は、この段階で、とにかくこの補助金をつけますよという、文科省からきちっと内示はおりているんですか、この金額というのは。

○大久保財政課長

認定こども園の施設整備の補助金につきましては、現時点ではまだ内示はおりておりません。ただ、平成30年度中に要望して、手を上げていくということでしてございまして、平成29年度は採択していただけませんでしたので、優先的に佐賀市に対してはとっていきというお言葉だけはいただいておりますので、それを期待しているところでございます。

○江頭委員

例えば、幼稚園型認定こども園の各園が、これに手を上げるというか、この施設整備の補助をお願いしますと言っても、まだ国の内示がおりてないということで、ずっと引き延ばしということになるわけです、予算に上がっていても。要は、これは一番重要なところなんですよね。もうとにかく早急にやらずにちゃいけない事業の補助金が昨年、突発的に文科省が予算の繰り越しができないということでした。市はこれはおかしいということで県のほうにお願いしてつけた金額ということで、予算に上げるということは、ここの時点で、当初予算で上げるということは、この議会で承認が出れば、もうすぐに執行できると、そういうふうに普通は思うじゃないですか。

○大久保財政課長

当然、国のほうには期待をしているところですが、事前に国の内示がおりないと、事前執行ということで、補助金自体がいただけなくなるということですので、我々としては内示を待ってからの執行をお願いしたいというふうに考えております。

○山下明子委員

47ページですね、小学校費国庫補助金と中学校費国庫補助金のそれぞれですが、要保護児童・生徒援助費補助金が7万8,000円、それから中学校費のほうは31万6,000円ということで、前も言ったことがあるんですが、就学援助に対する国庫負担金がこれだけしかないというのが、余りにも話にならないと。2分の1がこの額というのがですね。

今、ずっと子どもの貧困のことが言われている中で、これに関して、国に対する要望とかなんかで——就学援助に対する準要保護世帯に対する補助が前は出ていたのがなくなって、生活保護世帯分しか出なくなってしまったために、ほとんど全部、市の負担になっちゃっているのが現実ですよ。だから、そこで、今、子どもの貧困の問題を国挙げてどう

にかしようと言っているときに、この就学援助のことに言っているか。物を言うというふうな場があって、そこで物を言うとかという話に市の中ではないかとか、あるいは県の中ではないか、そこら辺はどうなんですか。

○大久保財政課長

県、あるいは国への要望の状況について、ちょっとすぐには確認がとれませんが、先ほどの制度改正の分は補助金から普通交付税措置という形に変わっております。交付税措置というふうに変ってきているというところがあります。

○山下伸二総務委員長

それは原課しかわからないわけですね、要望しているかどうかはですね。

○大久保財政課長

要望しているかどうかというのは原課のほうでないとわかりません。

○山下伸二総務委員長

それでは歳出のところを確認してください。

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようでしたら、最後に歳入第16款から第21款まで及び地方債について執行部の説明を求めます。

◎第1号議案 平成30年度佐賀市一般会計予算中、歳入第16款～第21款及び地方債 説明

○山下伸二総務委員長

それでは、ただいまの説明につきまして委員の皆様からの御質疑をお受けいたします。ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、以上で第1号議案のうち、歳入全款及び地方債に関する審査を終了いたしました。

なお、本日の審査に伴う主な質疑、意見等は総務委員会の審査報告の中で補足して口頭報告となりますけれども、口頭報告に対して何か皆さん御意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、口頭報告につきましては、総務委員会の正副委員長で調整させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、以上で4常任委員会の連合審査会を閉会いたします。お疲れさまでした。